

序

近年、心疾患に対する診断・治療は日進月歩の進化を遂げており、特に高齢化社会を迎えた日本においては、心疾患の早期発見と適切な評価がこれまで以上に重要となっています。その中で心エコーは、非侵襲的かつポータビリティに優れていながら豊富な情報を提供する手段として、循環器診療における最も基本的かつ重要なツールの一つとされています。心エコーの活用は、日々の臨床の現場で、心不全や弁膜症、心筋症、虚血性心疾患といった多くの心疾患の診断・病態評価・治療方針決定に不可欠です。

しかしながら、心エコーの正確な取得と読影には一定の技術と経験が求められ、初学者にとっては敷居の高い領域でもあります。心エコー画像は瞬間的に変化し、また断面やプローブの操作によって大きく印象が異なるため、基本をしっかりと理解し、経験を積むことが非常に重要です。

本書『心エコー一問一答 初学者が知っておくべき基礎知識』は、その名の通り、心エコーを学び始めたばかりの医師・技師の方々に向けて、実践的かつ分かりやすい内容を Q&A 形式でまとめたものです。日常診療で遭遇する素朴な疑問やつまずきやすいポイント、知っておくべき基本事項を網羅することを目指しました。

本書の執筆は、聖マリアンナ医科大学病院で心エコー教育を受け、実臨床の現場で活躍されている先生方にお願ひしました。彼らは、初学の頃に心エコーに苦労しながらも、丁寧な指

導と臨床経験を通じて知識と技術を習得し、今では後進の指導にもあたっておられます。本書には、そうした実体験に基づく「初学者の目線」や「つまずきポイントに寄り添う姿勢」が随所に織り込まれており、単なる教科書ではなく、心エコー教育の現場で受け継がれてきた知と工夫が詰まっています。

本書が、心エコーを学ぶ皆さんにとっての良き伴走者となり、診療の現場での自信と力につながることを願ってやみません。そして、将来的にはそれぞれの現場で心エコーの力を最大限に活かし、多くの患者さんの診療に貢献していただければ幸いです。

2025年9月

聖マリアンナ医科大学循環器内科

出雲昌樹